

順路② 常設展示室

コーナーごとにパネルやモニターテレビ、写真などを展示しています。



不知火海の原風景

水俣病が発生した不知火海。水俣病発生以前の漁生活や豊かだった海について語り部は語る…

水俣の工業化と都市化

小さな村だった水俣がチツソ工場とともに工業都市へと発展していった…

水俣病前史

昭和20年代後半から、魚の浮上やネコの狂死など不気味な出来事が続いた…

公式確認と原因究明

昭和31年、原因不明の患者が発生していることが公式に確認された。

患者の発生が相次ぎ、患者や漁師の生活は困窮を極めた。チツソ工場の廃水が病気の原因との疑いが強まっていたが、チツソ工場はこれを認めなかった。また、国や県も工場廃水の規制を行わず、工場廃水は流され続け、海の汚染は続いた…

政府公式見解発表以後

昭和43年、水俣病の発生から12年が経過し、ようやく国は、「水俣病はチツソ水俣工場の廃水が原因で起きた公害病である」ことを発表した。

被害者たちは、チツソや国・県を相手に、裁判や自主交渉を行い、謝罪と救済を求め闘い続けた…

政府解決策による被害者救済

国や県は行政責任を認めず、被害者たちの闘いは長期化し、いつ被害者たちが救済を受けられるか見通しもたない状況が続いていた。そこで、今後一切補償を求める紛争を起こさないことを条件に、政府の解決案にほとんどの患者団体が同意した…

メチル水銀と水俣病の発生

副生されたメチル水銀は、工場廃水とともに海に流された後、食物連鎖によって魚介類に高濃度に蓄積されていった。

魚介類が汚染されていることなど知らず、米があまりとれない漁村などではとれた魚を日常的に多食し、次々と悲劇が生まれた…

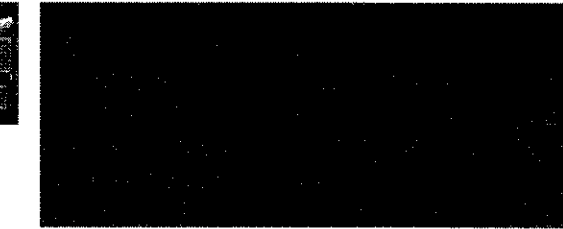
水俣病の病状

チツソ水俣工場では、ネコに工場廃液を与えるなどの実験をひそかにを行い、ネコが水俣病を発症することを確認していた。しかし、その事実は隠したまま工場廃水を流し続け、被害の拡大をまねいた。

その他、人体への水銀蓄積量と症状との関係など。

水俣病の病像

小児・成人水俣病と胎児性水俣病について
水俣病はメチル水銀中毒症であり、体内に取り込まれ蓄積したメチル水銀によって脳の中枢神経を侵される。手足の感覚障害・ふるえ・しびれ、視野狭窄、難聴など様々な症状が現われる。そのうえ、母親の胎盤を通して胎児にも水銀が蓄積し、生まれながらに水俣病にかかる胎児性水俣病患者の発生というさらなる悲劇が生まれた…



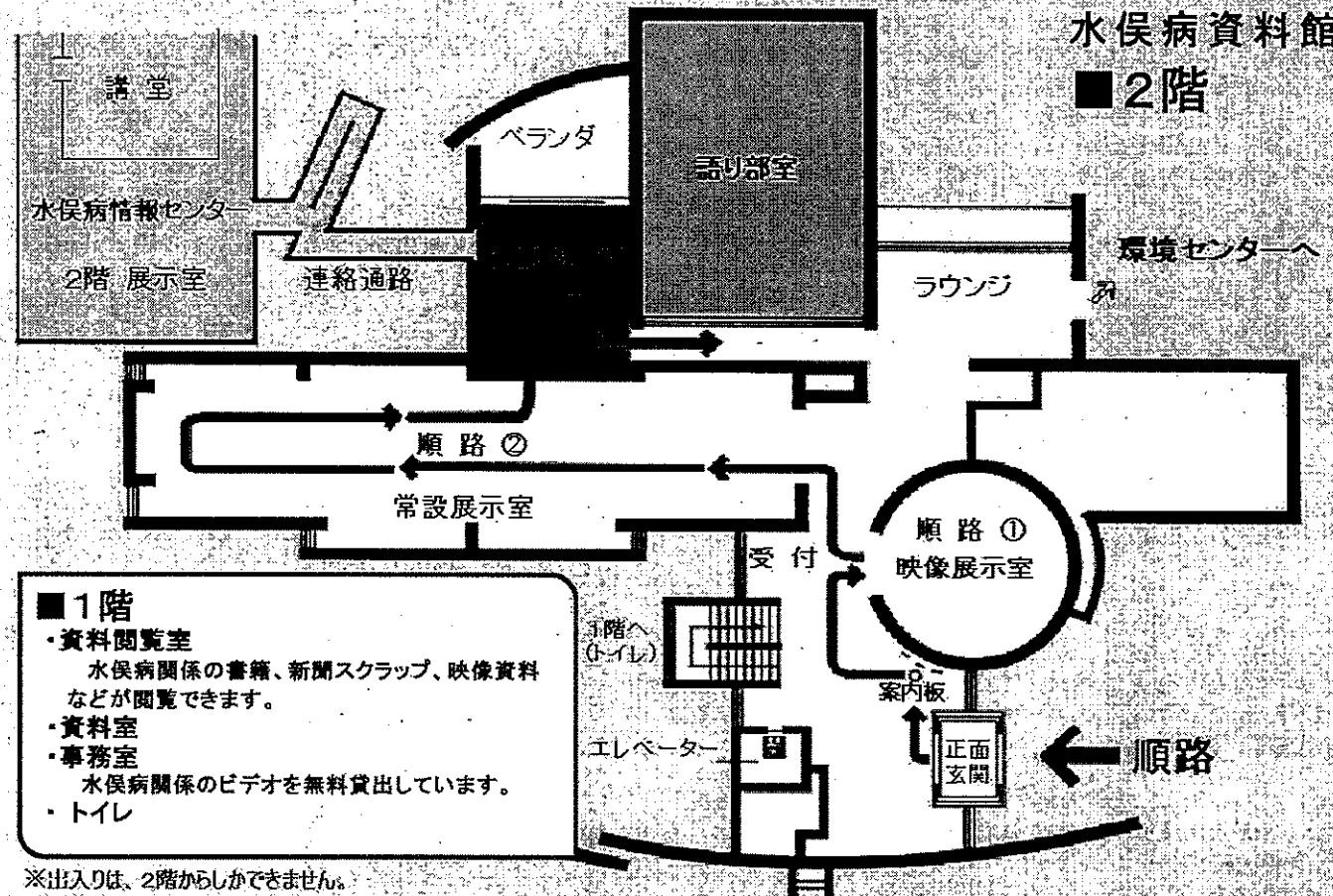
語り部室

語り部から水俣病の悲惨な体験を直接聞くことができます。当時の生活、水俣病の症状、周囲からの差別・偏見など自身の体験を語りかけます。

※10名以上の団体無料・要予約



水俣病資料館 ■2階



※出入りは、2階からしかできません。

世界の有機水銀中毒

新潟水俣病の概要や、世界各国で発生している有機水銀中毒の事例を紹介。

水俣病への対策

水俣病認定制度や水俣病総合対策医療事業の紹介。
水俣病の医療と研究、水俣湾公害防止事業の紹介。

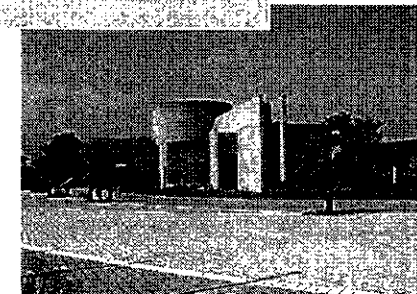
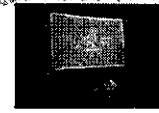
今後への取り組み

水俣市長として初めて謝罪を述べた水俣病犠牲者慰霊式式辞や患者や遺族・犠牲者への祈りの言葉。
水俣市の環境モデル都市づくり宣言文など。

順路①

映像展示室

「水俣病とその教訓」を大型スクリーンで上映
(上映時間18分)



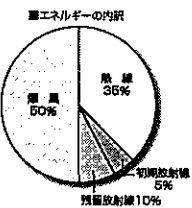
水俣病資料館

ご入館の際には、受付で記帳をお願いします。

順路にそって「見学ください」

広島に投下された原子爆弾について

原子爆弾は、ウランやプルトニウムが核分裂するときに発生する巨大なエネルギーを利用して、爆発的な破壊力を持つ兵器として利用される。広島に投下された原子爆弾は、ウランが核分裂するときに発生する巨大なエネルギーを利用して、爆発的な破壊力を持つ兵器として利用された。約50キログラムのウラン235が核分裂して放出されたエネルギーは、約2000キロトンに相当する。このエネルギーの大部分は、熱と放射線として放出された。このエネルギーは、広島に投下された原子爆弾の威力の大部分を占めている。



その内訳は、爆風(衝撃波)が50パーセント、熱線が35パーセント、放射線が15パーセントで、これらが複雑にかみあって大きな被害を引き起こしたのです。強烈な熱線と爆風は、爆心地から2キロメートル以内にあったほとんどの建物を破壊し、焼きつくし、放射線による急性障害が一応おさまったとされる1945(昭和20)年12月末までに約14万人の犠牲者が失われました。

東館地下1階のご案内

メモリアルホール
312席、車椅子席4席。修学講習の会場です。空いているときは、一般利用もできます。

展示室(3)(4)(5)〈無料〉
「市民が描いた原爆の絵」、平和や原爆に関する美術作品や企画展の会場です。

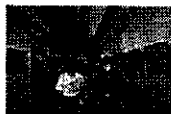
情報資料室(土・日・祝日は閉室)
原爆・平和に関する資料や図書を公開しています。平和データベースやインターネット情報の検索もできます。



メモリアルホール



市民が描いた原爆の絵



展示室(3)



情報資料室

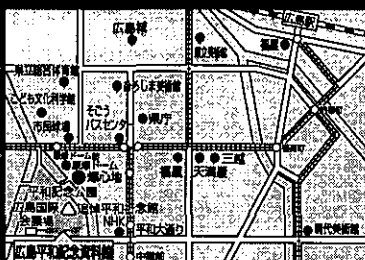
■開館時間：3月~11月 8:30~18:00 (8月は19:00閉館)
12月~2月 8:30~17:00
○入館は開館30分前まで

■休館日：年末年始(12月29日から1月1日)

■観覧料

区分	個人	団体
大人(大学生以上)	60円	40円(90人以上)
小・中・高校生	30円	無料(90人以上)

※団体予約(20人以上)は、別途予約が必要です。また、団体予約は、団体名義での申し込みが必要です。団体予約の受付は、前営業日の午後5時以降となります。団体予約の受付は、前営業日の午後5時以降となります。団体予約の受付は、前営業日の午後5時以降となります。



■交通案内：JR広島駅(南口)から(約20分)
バス/広島バス吉敷方面行で「平和記念公園」下車
市内電車/紙屋町線由広島港(宇品)行で「中電前」下車
空港口・江波行で「原爆ドーム前」下車



◇ 国立広島原爆死没者追悼平和祈念館もご覧ください。

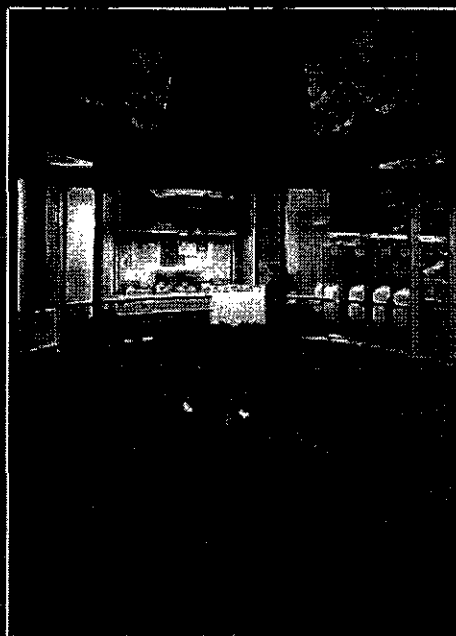
原爆死没者を追悼するとともに、被爆体験記などを通じて、原爆被害の悲惨な体験に触れ、被爆の実相について理解を深めることができます。



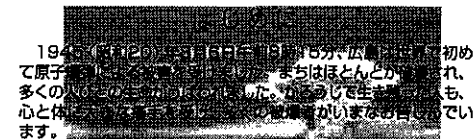
【平和祈念・死没者追悼空間】

【被爆体験記を聴く】

広島平和記念資料館
HIROSHIMA PEACE MEMORIAL MUSEUM



〒730-0811 広島市中区中馬町1番2号
TEL:082-241-4004 FAX:082-542-7941
E-mail:hpcf@pcf.city.hiroshima.jp
ホームページ:http://www.pcf.city.hiroshima.jp/



1945年8月6日、広島に投下された原子爆弾の被害者、そして生き残った多くの人々の記憶を、この資料館に託す。心に刻み込まれた記憶を、この資料館に託す。

平和記念資料館は、被爆者の悲惨な状況を示す写真や資料を収集、展示するとともに、広島市被爆前後の歩みや戦時代の状況などについても紹介しています。資料の多くについては、人びとの喜びや涙が込められています。原爆の惨劇からよみがえったヒロシマの真実は、核兵器のない平和な社会を実現することです。

館内施設のご案内

常設展示室(東館1~3階、本館)
常設展示は東館、本館の2つに分かれています。東館の1階から入場して本館につながるります。東館では被爆前と被爆後の広島の様子を紹介し、本館では、原爆や被爆資料を展示して、1945(昭和20)年8月6日、広島に何が起こったのかを伝えています。

ビデオシアター(東館1階)
原爆記録映画「ヒロシマ・母たちの祈り」、「ヒロシマ・ナガサキ核戦争のもたらしたものを」を日本語・英語で上映しています。(無料)

	ヒロシマ・母たちの祈り	ヒロシマ・ナガサキ核戦争のもたらしたもの
1回目	9:30	10:05
2回目	11:00	11:35
3回目	13:00	13:35
4回目	14:30	15:05
※5回目	18:00	18:35



ビデオシアター

*12月~2月までの間は、5回目の上映はありません。

音声ガイドの貸出(東館1階入口)
常設展示や、遺品の詳しい解説が聞ける17か国語*の音声ガイドを貸し出しています。(1台300円)



ミュージアムショップ

*日本語・英語・アラビア語・中国語・フィリピン語・フランス語・ドイツ語・ハンガリー語・インドネシア語・イタリア語・マレー語・ポルトガル語・ロシア語・スペイン語・タイ語・ウルドゥ語

ミュージアムショップ(東館3階)
原爆や平和に関する図書などを販売しています。

ビデオコーナー(東館3階)
原爆・平和をテーマとしたアニメなどのビデオが視聴できます。(3ブース)

休憩所・売店(東館1階)
公園来園者のための休憩場所です。

原爆展・平和学習用資料の貸出し
資料館では原爆展や平和学習のための資料の貸出しを行っています。(被爆者資料、市民が描いた原爆の絵、写真/パネル、ポスター、ビデオ/フィルムなど)

修学講習のご案内
修学旅行で広島を訪れた児童・生徒などを対象に、被爆者による被爆体験の講話と原爆記録映画の上映を実施しています。

●問い合わせ専用電話/082-541-6544